

【記載例】

洪水時の避難確保計画



【施設名： 島本町立第〇幼稚園】

1 施設に対し一つの避難確保計画を作成してください。1施設で複数の事業を実施している場合は、まとめて作成することは可能です。

令和 年 月 日 作成

様式編 目 次

市町村に提出（6は自衛水防組織を設置した場合に提出）

1	計画の目的	1
2	計画の報告	1
3	計画の適用範囲	1
4	防災体制	2
5	情報収集・伝達	3
6	避難誘導	3
7	避難の確保を図るための施設の整備	4
8	防災教育及び訓練の実施	4
別紙	施設周辺の避難地図	5
9	自衛水防組織の業務に関する事項	6

個人情報等を含むため適切に管理 ※市町村への提出は不要

10	防災教育及び訓練の年間計画作成例	7
11	施設利用者緊急連絡先一覧表	7
12	緊急連絡網	8
13	外部機関等への緊急連絡先一覧表	8
14	対応別避難誘導方法一覧表	9
15	防災体制一覧表	10

別添	「自衛水防組織活動要領（案）」	11	} 自衛水防組織 を設置する 場合のみ作成
別表1	「自衛水防組織の編成と任務」	12	
別表2	「自衛水防組織装備品リスト」	12	

1 計画の目的

この計画は、水防法第15条の3第1項に基づくものであり、本施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2 計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を島本町長（送り先は別紙担当課へ）報告する。

3 計画の適用範囲

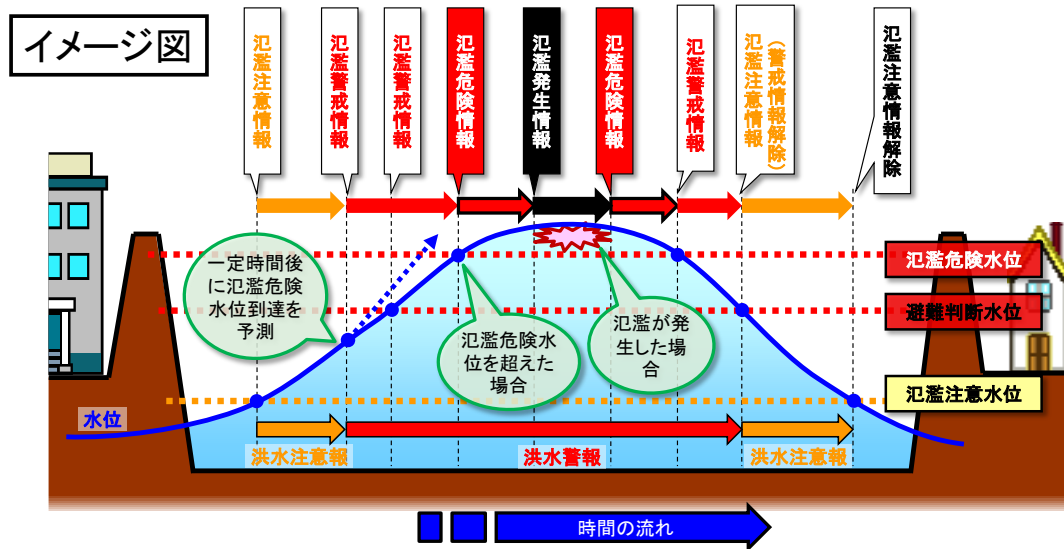
この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況】

利用される最大人数を記入してください

人 数			
昼間・夜間		休日	
利用者	施設職員	利用者	施設職員
昼間 150 名	昼間 20 名	休日 5 名	休日 3 名
夜間 0 名	夜間 名		

水位情報と避難



4 防災体制

①洪水時の防災体制

- ・本施設において浸水が想定される河川

施設が 0.5m以上の浸水が想定される対象となる河川をハザードマップで確認してください

洪水予報河川の基準水位

施設該当河川 (該当に○)	河川名 (観測所)	氾濫注意水位 (m)	避難判断水位 (m)	氾濫危険水位 (m)
○	淀川 (枚方)	4.50	5.40	5.50

②洪水時防災体制確立の判断時期及び役割分担

個別の氏名ではなく、情報伝達要員等又は○○課△△係などを記入してください

連絡体制及び対策本部は、以下のとおり設置する。

体制	体制確立の判断時期	活動内容	対応要員
注意体制確立	【大阪管区气象台からの情報】 島本町に洪水注意報が発表 島本町に大雨注意報が発表 【河川管理者からの情報】 対象となる河川に氾濫注意情報が発表	気象情報の収集 河川水位情報の収集	情報収集伝達要員
警戒体制確立	【大阪管区气象台からの情報】 島本町に大雨警報 (浸水害) が発表 島本町に洪水警報が発表 【河川管理者からの情報】 対象となる河川に氾濫警戒情報が発表 【島本町からの情報】 対象となる河川に避難準備・高齢者等避難開始が発令	気象情報の収集 河川水位情報の収集 避難情報の収集 使用する資機材の準備 関係者への準備 要避難者の避難誘導	情報収集伝達要員 避難誘導要員
非常体制確立	【河川管理者からの情報】 対象となる河川に氾濫危険情報が発表 【島本町からの情報】 対象となる河川に避難勧告・避難指示 (緊急) が発令	施設内全体の避難誘導	避難誘導要員

5 情報収集・伝達

情報収集の方法については、
適宜、加筆修正してください

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報	テレビ、ラジオ、インターネット（大阪管区気象台 http://www.jma-net.go.jp ）、（内水：島本町雨量 www.shimamoto.wni.co.jp ）
洪水予報・河川水位	インターネット（川の防災情報〈淀川〉 https://river.go.jp ）、緊急速報メール
避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）	防災行政無線、テレビ、ラジオ、インターネット（川の防災情報〈淀川〉 https://river.go.jp ）、緊急速報メール

(2) 情報伝達

- ①「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。
- ②体制確立時、あらかじめ島本町 **子育て支援課** と調整した事項について、島本町 **子育て支援課** に報告する。

6 避難誘導

避難誘導については、次のとおり行う。

ハザードマップの避難所における災害の種別（洪水）における最寄りの避難所など、あらかじめ選定してください

(1) 避難場所

避難場所は下表のとおりとする。また、悪天候の中の避難や、夜間の避難は危険もともなうことから、施設における想定浸水深が浅く、建物が堅牢で家屋倒壊のおそれがない場合、屋内安全確保を図るものとする。その場合は、備蓄物資を用意する。

(2) 避難経路

避難場所までの避難経路については、「別紙 避難経路図」のとおりとする。

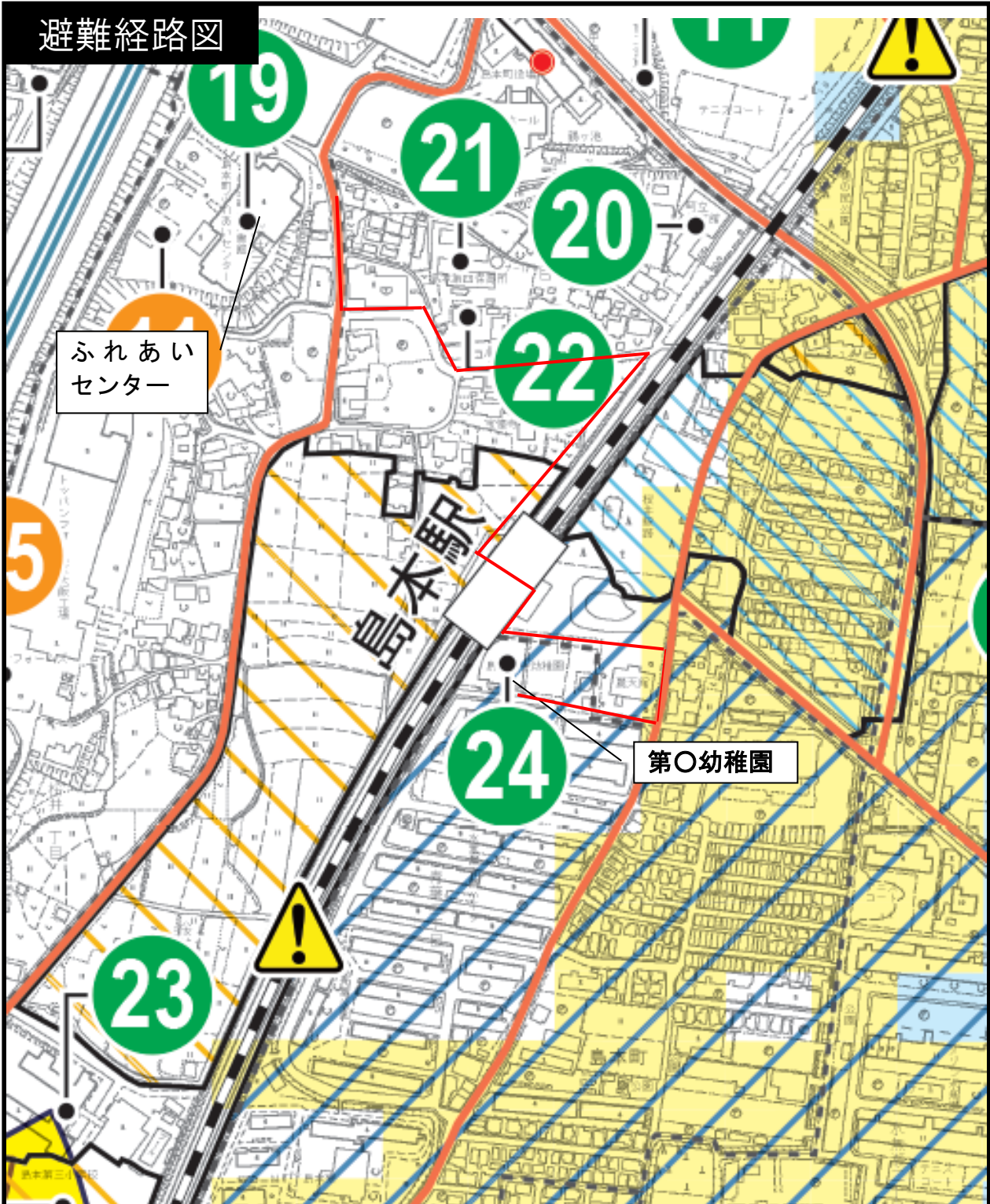
(3) 避難誘導

避難場所までの移動距離及び移動手段は、以下のとおりとする。

	名称	移動距離	移動手段
避難場所	ふれあいセンター	(500) m	<input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 車両 () 台
屋内安全確保	第〇幼稚園		

【施設周辺の避難経路図】

洪水時の避難場所は、洪水ハザードマップの想定浸水域および浸水深から、以下の場所とする。



9 自衛水防組織の業務に関する事項

※自衛水防組織を設置する場合には、様式7を参考に加筆・修正してください。
また、あわせて別添、別表1・2を作成してください。

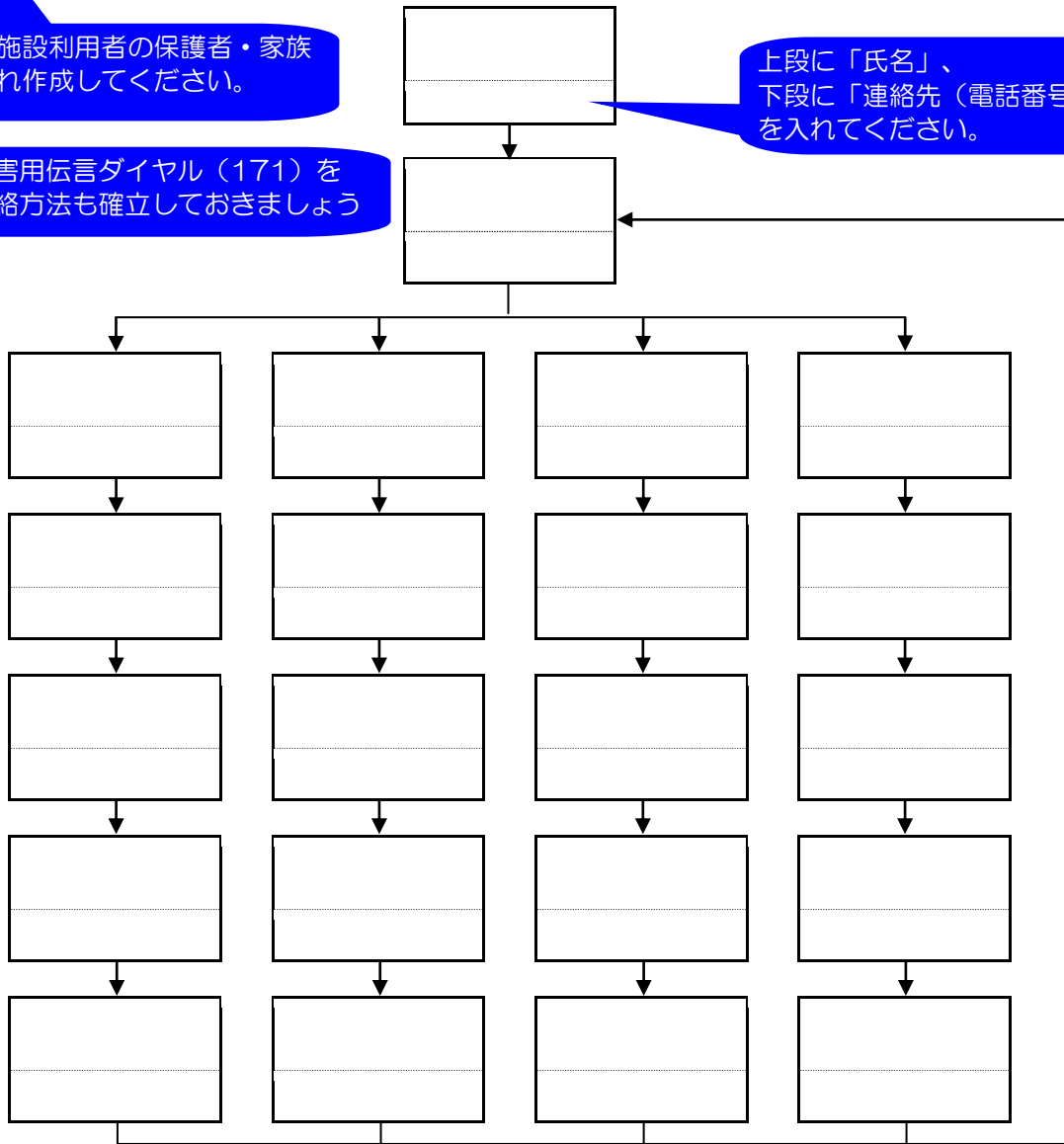
- (1) 別添「自衛水防組織活動要領(案)」に基づき自衛水防組織を設置する。
- (2) 自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。
 - ① 毎年4月に新たに自衛水防組織の構成員となった従業員を対象として研修を実施する。
 - ② 毎年5月に行う全従業員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- (3) 自衛水防組織の報告
自衛水防組織を組織または変更をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

12 緊急連絡網

従業員用と施設利用者の保護者・家族用をそれぞれ作成してください。

メールや災害用伝言ダイヤル（171）を利用した連絡方法も確立しておきましょう

上段に「氏名」、
下段に「連絡先（電話番号）」
を入れてください。



13 外部機関等への緊急連絡先一覧表

連絡先	担当部署	担当者氏名	電話番号	連絡可能時間	備考
島本町（防災担当）	総務部 危機管理室	山崎 知三 中 達矢	962-0380	平日 午前9時～ 午後5時30分	時間外、休・祝日は 961-5151（警備室）
島本町（幼稚園担当）	教育こども部 子育て支援課				
島本町消防署	（消防署）		（代）075-962-1199		
高槻警察署	警備課警備係		（代）072-672-1234		
避難誘導等の支援者					
医療機関					

15 防災体制一覧表

管理権限者 () (代行者)

情報収集 伝達要員	担当者	役割
	班長 () 班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、 情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼び掛け <input type="checkbox"/> 洪水予報等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡

避難誘導 要員	担当者	役割
	班長 () 班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認

別添 「自衛水防組織活動要領（案）」

自衛水防組織を設置する
場合のみ作成

（自衛水防組織の編成）

第1条 管理権限者は、洪水時等において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

2 自衛水防組織には、統括管理者を置く。

（1）統括管理者は、管理権限者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

（2）統括管理者は、洪水時等における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

3 管理権限者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

4 自衛水防組織に、班を置く。

（1）班は、総括・情報班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

（2）各班の任務は、別表1に掲げる任務とする。

（3）防災センター（最低限、通信設備を有するものとする）を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター勤務員及び各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する。

（自衛水防組織の運用）

第2条 管理権限者は、従業員の勤務体制（シフト）も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

2 特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあって、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権限者は、近隣在住の従業員等の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

3 管理権限者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員等の非常参集計画を定めるものとする。

（自衛水防組織の装備）

第3条 管理権限者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

（1）自衛水防組織の装備品は、別表2「自衛水防組織装備品リスト」のとおりとする。

（2）自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

（自衛水防組織の活動）

第4条 自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。

別表1 「自衛水防組織の編成と任務」

自衛水防組織を設置する場合のみ作成

管理権限者 () (代行者)

	役職及び氏名	任 務
総括・ 情報班	班長 () 班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、 情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼び掛け <input type="checkbox"/> 洪水予報等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡
避難 誘導班	班長 () 班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認

別表2 「自衛水防組織装備品リスト」

任 務	装 備 品
総括・情報班	名簿（従業員、利用者等） 情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、 携帯電話等） 照明器具（懐中電灯、投光機等）
避難誘導班	名簿（従業員、利用者等） 誘導の標識（案内旗等） 情報収集及び伝達機器 （タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 懐中電灯 携帯用拡声器 誘導用ライフジャケット 蛍光塗料